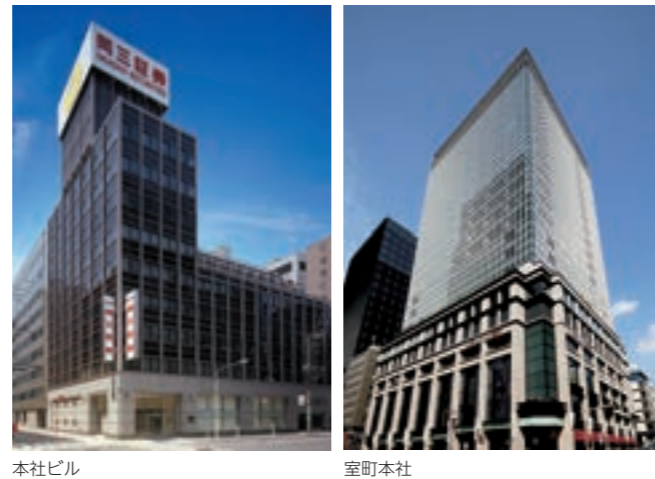


■ 会社概要 (平成26年11月21日現在)

商号 株式会社岡三証券グループ
(OKASAN SECURITIES GROUP INC.)
所在地 東京都中央区日本橋一丁目17番6号
創業 大正12年4月4日
設立 昭和19年8月25日
資本金 18,589,682,639円
従業員数 3,350名 (第77期第2四半期連結ベース)
上場金融商品取引所 東京・名古屋証券取引所



■ 株式の状況 (平成26年9月30日現在)

株式の状況

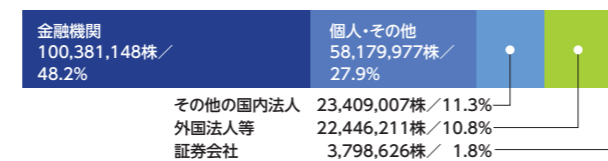
発行可能株式総数 750,000,000株
発行済株式の総数 208,214,969株
株主数 24,600名

大株主(上位10名)

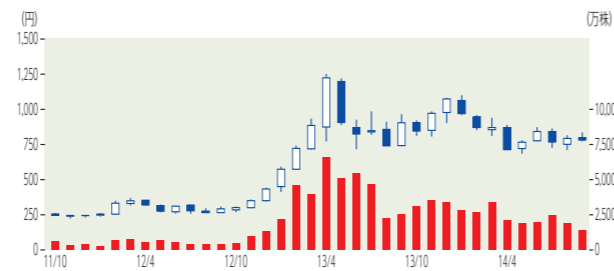
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本生命保険相互会社	9,732	4.87
農林中央金庫	9,700	4.85
三井住友信託銀行株式会社	8,726	4.37
三菱UFJ信託銀行株式会社	5,822	2.91
大同生命保険株式会社	5,500	2.75
有限会社藤精	5,266	2.63
株式会社りそな銀行	4,937	2.47
株式会社みずほ銀行	4,925	2.46
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口	4,924	2.46
株式会社三菱東京UFJ銀行	4,848	2.43

※ 当社は、自己株式8,366,028株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別持株比率



株価および出来高の推移 (東証・月間)



■ 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月中に開催
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
 期末配当金 毎年3月31日
 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数 1,000株
公告方法 電子公告 (当社ホームページに掲載) <http://www.okasan.jp>
 やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、
 日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人および 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎0120-782-031 (平日9:00~17:00/土・日・休日を除く)
(URL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会
証券会社の口座をご利用の株主さまは、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、株主さまの口座のある証券会社宛にお願いいたします。
証券会社の口座をご利用されていない(特別口座に株式のある)株主さまは、左記電話照会先までご連絡ください。
配当金のお受取り方法について
配当金のお受取り方法につきましては、便利なご指定口座への口座振込による方法のほか、証券会社のお取引口座において株式数に応じてお受取りいただく方法、ゆうちょ銀行または郵便局の窓口でお受取りいただく方法がご利用いただけます。
お手続きにつきましては、株主さまの口座のある証券会社または三井住友信託銀行(特別口座に株式のある株主さま)へお問い合わせください。

株主のみなさまへ

第77期中間のご報告 (平成26年4月1日~平成26年9月30日)

株式会社 岡三証券グループ

■ ごあいさつ

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととおよろこび申し上げます。

第77期中間のご報告をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当社は、今年度、新体制をもってスタートいたしました。当社および中核企業の岡三証券をはじめ子会社8社で新社長が就任し、新たな経営課題に取り組んでおります。同時に、伝統・文化と先進性が調和する街、東京日本橋室町に本社機能の集約を更に進め、経営機能の一段の強化を図ってまいりました。

岡三証券では、4月にロンドン駐在員事務所を設立したほか、オーストラリアのベル・ポッター証券と提携するなど、引き続き海外の情報収集力を強化し、商品提供力の向上に努めました。また、これからの時代を見据えた店舗戦略、人事政策等さまざまな改革に取り組んでおります。

今後とも、創業以来守ってきた「お客さま大事」の経営哲学のもと、投資アドバイスのプロフェッショナル集団として、グループの総力をあげて、更なる企業価値の向上に努めてまいり所存でございます。

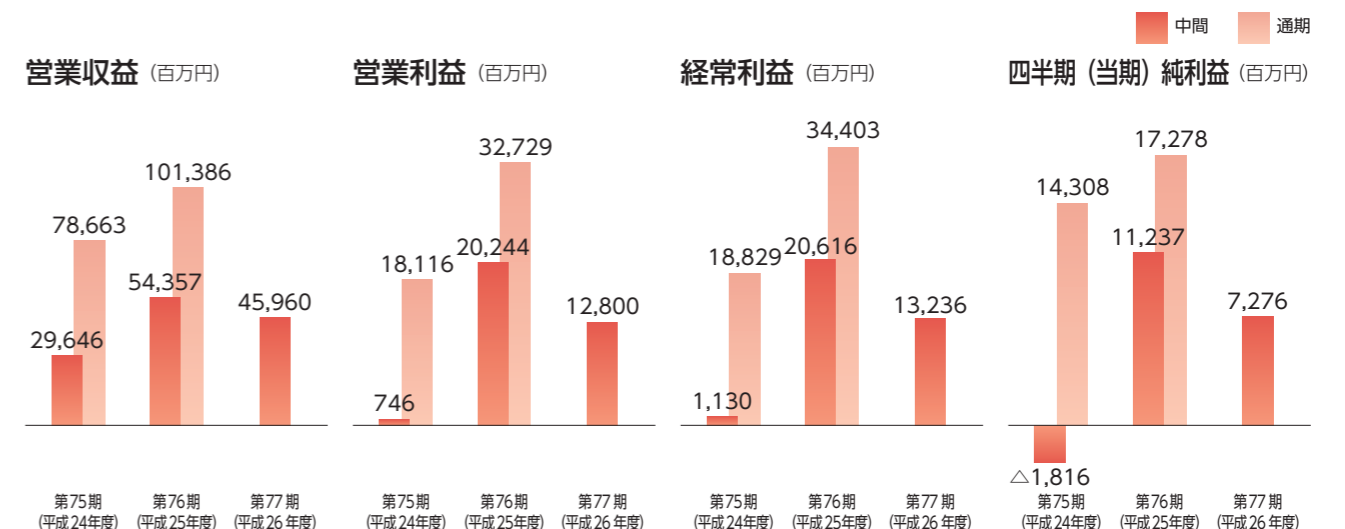
株主のみなさまにおかれましては、なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成26年11月



取締役会長 加藤 精一 取締役社長 新芝 宏之

■ 業績ハイライト (連結)



四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

科 目	(単位: 百万円)	
	前年度第2四半期 (平成25年9月30日)	当年度第2四半期 (平成26年9月30日)
<資産の部>		
流動資産	650,515	612,223
現金・預金	46,777	56,935
預託金	71,802	61,245
トレーディング商品	249,587	244,013
約定見返勘定	19,451	4,240
信用取引資産	65,133	53,373
有価証券担保貸付金	184,562	180,824
その他の流動資産	13,201	11,590
固定資産	67,158	71,854
有形固定資産	17,584	19,115
無形固定資産	8,797	8,203
投資その他の資産	40,777	44,535
資産合計	717,674	684,078

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

科 目	(単位: 百万円)	
	前年度第2四半期 (平成25年9月30日)	当年度第2四半期 (平成26年9月30日)
<負債の部>		
流動負債	543,350	499,139
トレーディング商品	182,827	173,876
信用取引負債	20,143	18,497
有価証券担保借入金	62,822	52,114
預り金	42,451	51,682
受入保証金	41,349	34,160
短期借入金	178,615	158,515
その他の流動負債	15,140	10,292
固定負債	28,177	25,041
特別法上の準備金	1,715	2,479
負債合計	573,243	526,660
<純資産の部>		
株主資本	113,005	121,441
資本金	18,589	18,589
資本剰余金	12,913	12,913
利益剰余金	85,182	93,649
自己株式	△ 3,679	△ 3,711
その他の包括利益累計額	8,401	11,002
少数株主持分	23,023	24,974
純資産合計	144,430	157,418
負債・純資産合計	717,674	684,078

四半期連結損益計算書

科 目	(単位: 百万円)	
	前年度第2四半期累計 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当年度第2四半期累計 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業収益	54,357	45,960
① 受入手数料	37,698	30,649
② トレーディング損益	14,683	13,787
金融収益	1,569	1,151
その他の営業収益	407	371
金融費用	737	621
純営業収益	53,620	45,339
③ 販売費・一般管理費	33,375	32,538
営業利益	20,244	12,800
営業外収益	511	538
営業外費用	140	102
経常利益	20,616	13,236
特別利益	29	129
特別損失	415	207
税金等調整前四半期純利益	20,230	13,158
法人税、住民税及び事業税	7,885	4,377
法人税等調整額	△ 93	660
法人税等合計	7,791	5,038
少数株主損益調整前四半期純利益	12,439	8,120
少数株主利益	1,201	843
四半期純利益	11,237	7,276

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

当第2四半期連結累計期間における営業収益は、前年同期比15.4%減の459億60百万円となりました。

①受入手数料

受入手数料は前年同期比18.7%減の306億49百万円となりました。投資信託関連収益は堅調に推移しましたが、前年同期に国内株式市況が活況だった反動で株式委託手数料が減少しました。

②トレーディング損益

トレーディング損益は前年同期比6.1%減の137億87百万円となりました。国内株式や外国債券の収益は減少しましたが、米国株式の国内店頭取引が拡大しました。

③販売費・一般管理費

販売費・一般管理費は、前年同期比2.5%減の325億38百万円となりました。主に証券ビジネスに係る取引関係費が減少したほか、人件費も減少しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における経常利益は前年同期比35.8%減の132億36百万円、四半期純利益は同35.3%減の72億76百万円となりました。

OKASAN TOPICS

岡 三 ト ピ ッ ク ス

岡三証券グループ 「日経IRフェア2014」に初出展

岡三証券グループは、本年8月29日(金)、30日(土)の2日間にわたり東京ビッグサイト(東京都江東区)で開催された「日経IRフェア2014」に金融協賛社として初めてブース出展いたしました。岡三証券グループのブースでは、証券会社のサービスに直接触れていただけるよう、岡三証券のコンサルタントによる投資相談コーナーや、岡三オンライン証券の取引ツール体験コーナーを設けた他、岡三証券、岡三オンライン証券、岡三アセットマネジメントの3社がブース内で開催した投資セミナーは、大勢の立ち見が出るほどの盛況となりました。

さらに、30日(土)に大会場で開催した、岡三証券の人氣ストラテジストによる講演会には、定員100名を大幅に上回る希望者が詰めかけました。



「神楽洞夢」小学生向け学習投影を開始

岡三証券グループ津ビル(三重県津市、平成25年9月竣工)4階に開設した岡三デジタルドームシアター「神楽洞夢」では、本年4月から、津市内の小学生向けに学習指導要領にもとづく学習投影をスタートいたしました。

創業90周年記念事業の一環として創業の地に開設したこの施設では、世界最高水準の映像表現力を活かし、臨場感あふれる映像空間で宇宙を体験することで、子どもたちの科学への関心を高めてもらい、科学教育のお役に立てるよう取り組んでおります。



岡三証券 豪・Bell Potter証券と業務提携

岡三証券は本年7月、オーストラリアのBell Potter証券と業務提携に関する覚書を締結いたしました。



この提携により、アジアのネットワークに加え、国内機関投資家の投資ニーズが高いオーストラリア市場およびニュージーランド市場への株式注文執行体制を整備するとともに、オーストラリア市場に関する投資情報の収集体制を強化いたします。なお、今回の提携により、海外証券会社との業務提携は7社目となりました。

岡三アセットマネジメント 創立50周年を迎えました

本年10月、岡三アセットマネジメントは創立50周年を迎えました。みなさまのご愛顧に厚くお礼申し上げます。岡三アセットマネジメントでは、昭和39年(1964年)の創立以来、常に投資家の視点に立った商品開発と運用に努め、業容を拡大してまいりました。その結果、平成26年9月末現在、投資信託の運用残高は1兆5千億円、販売会社数は160社となり、いずれも過去最高水準となりました。



これからも、「For the Funds」の経営理念のもと、資産運用サービスの一層の品質向上に努め、お客さまにご満足いただけるよう努力してまいりますので、変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

